

2015年8月25日

お客様 各位

メッツラー・アセット・マネジメント株式会社  
代表取締役社長 牧野 浩人

弊社取締役の外務大臣表彰の受賞について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、弊社の取締役でメッツラーのホールディングカンパニーのパートナーでもありますゲアハルト・ヴィースホイが、平成27年度外務大臣表彰を受賞いたしました。別紙にてメッツラーのプレスリリースの邦訳をお届けいたしますので、ご査収のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

弊社といたしましては、今後とも皆様のお役に立てるよう、運用サービスのますますの向上を目指す所存でございますので、引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具



### ゲアハルト・ヴィースホイ(メッツラーグループ・パートナー) 日本国外務大臣表彰を受賞

このたび、メッツラーグループのホールディングカンパニーのパートナーであるゲアハルト・ヴィースホイが、日本国外務大臣表彰を受賞することになりました。外務大臣表彰は、日本と諸外国の友好親善関係発展に対して特に顕著な功績のあった個人及び団体についてその功績を称えるものです。

今回の受賞は、長年にわたり日独両国の友好関係強化に対し精力的に取り組んできた功績が評価されたもの。本年9月、在ベルリン日本国大使館にて中根猛・在ドイツ連邦共和国特命全権大使より表彰状等が伝達される予定です。

ヴィースホイは、2011年より日独産業協会(DJW)の理事長を務め、2012年にはゲーテ大学フランクフルト・アム・マインの東アジア学際研究センター(IZO)の理事会メンバーおよびフランクフルト独日協会(DJG Frankfurt)の顧問メンバーにも就任。2014年からはベルリン日独センター(JDZB)の評議会議長も兼ねています。こうした中、とりわけ DJW を通じて手がけた数多くのプロジェクトやアイデアが日独間の相互理解進捗に大いに資するところとなりました。例えば、ある時は教育の場で次世代に向かって講演。またある時には経済界を相手に講演やシンポジウムを主導。さらには文化的なイベントにおいてもそのイニシアチブを發揮して参りました。

このように、ヴィースホイの関心が両国の経済関係のみならず文化的交流にも向けられてきたことは特筆すべきです。例年フランクフルト市にて開催される世界最大の日本映画祭「ニッポン・コネクション」のメインスポンサーの一角をメッツラー社が過去10年にわたり担ってきたことは好例の一つです。

翻るに、若くして日本文化に触れたことが、ヴィースホイにとりその後日本との結びつきを深めていく礎となりました。大学で経営学を学んだ後、デュイスブルク大学において東アジア経済をテーマに修士号を取得。コメルツ銀行へ就職後、1991年から1999年にかけて同行の東京における投資顧問部門で要職を担いました。私生活では1985年に日本人女性と結婚。彼の非常に堪能な日本語もまた日本文化に対する格別の理解も由美子夫人との生活で育まれた賜物です。

歴史を通じ創業者ファミリーが一貫して所有するドイツの老舗プライベートバンク、バンクハウス・メッツラーの業務においても、日独関係は貴重な一翼を担っています。

2001年設立の日本子会社メッツラー・アセット・マネジメント(ジャパン)を通じ世界の金融センター東京に橋頭堡を築き、日本の機関投資家の資産運用パートナーとして地歩を固め、日本との間でビジネスの実績を積み上げて参りました。

日本企業の間では、M&Aを通じたドイツ市場へのアクセスや米国不動産投資に対する関心が益々高まりつつあります。メッツラーグループはこうしたニーズに応える重要な役割をしっかりと果たして参ります。